

1 背景

- 市町村水道事業者は技術職員が不足し限られた職員数で施設整備や維持管理を行っているため様々な課題への対応が困難な状況
- 技術、情報、人材確保・育成等の支援が喫緊の課題

2 支援概要

一事業体の枠を超え、「**地域への貢献、地域との連携**」という視点で、市町村等の水道事業者を対象とした現場の実情に即した支援を実施



1. 水道事業実務研修会
2. 横浜ウォーター(株)と協働した支援
3. 簡易研修設備の設置
4. その他 (H30～)
 - ・水道事業なんでも相談窓口
 - ・お出かけ相談
 - ・漏水調査機器貸出

3 主な支援の状況

○水道事業実務研修会 (H30～)

市町村等水道職員の技術力向上を目的に、県内各地域において現場の課題に即した実務レベルの研修会を開催

○実施状況

- ・開催回数 54回(R5.9.20現在)
- ・延べ参加者(1,582人 727団体 (R5 78人 40団体))

○R5実施内容

- ・第1回 (5/30)
水道事業入門編～初めて水道事業に携わる方へ～
- ・第2回 (8/8)
給水装置の基礎知識 ((株)日邦バルブ工場見学)

- 今後の予定 「有収率向上のヒント」(10月)
「公営企業会計入門」「給水装置設計施工実務の課題」



第2回研修会 給水装置工場見学の状況 (令和5年8月8日)

○横浜ウォーター(株)※と協働した支援 (R4～)

企業局、横浜ウォーター(株)が包括連携協定を締結 (R4.6.1)
相互に市町村を訪問し、両者が市町村の課題を把握・共有し、お互いが持つノウハウを活用し、経営計画・技術継承・事業運営等を支援



令和5年9月
企業局が飯山市へ訪問
(有収率低下対応について)

○訪問等実績

- ・横浜ウォーター 40団体 (R5 14団体)
- ・企業局 33団体 (R5 1団体)

○支援実績例

- ・中川村 水道施設台帳整備、マニュアル作成、業務分析
- ・飯田市 配水池統合に伴う濁水発生等防止の作業計画立案

※横浜ウォーター(株)

事業体の立場に立った公営性と中立性に基づく、コンサルティング業務、マネジメント支援業務等を国内外で展開する横浜市水道局100%出資会社

○簡易研修施設の整備 (R5~)

概要と目的

課題

- 水道施設維持管理に係る技術力の維持・向上と技術の継承
- 水道事業に係る人材育成

対応・目的

- 配管、漏水修繕等の水道に関する技術研修を行うための簡易研修設備を上田市内の諏訪形浄水場内に整備
- 県内市町村と共同利用することにより、企業局職員を含む県内水道事業全体の技術力の維持・向上を図る

効果

- 技術研修による企業局及び県内市町村職員の水道技術の修得と知識の向上
- ベテラン職員からの技術継承
- 県内市町村との顔の見える関係づくりによる連携強化

施設設置計画と研修イメージ



水道メーター交換等研修エリア

水道メーター交換、止水栓の取扱い習得



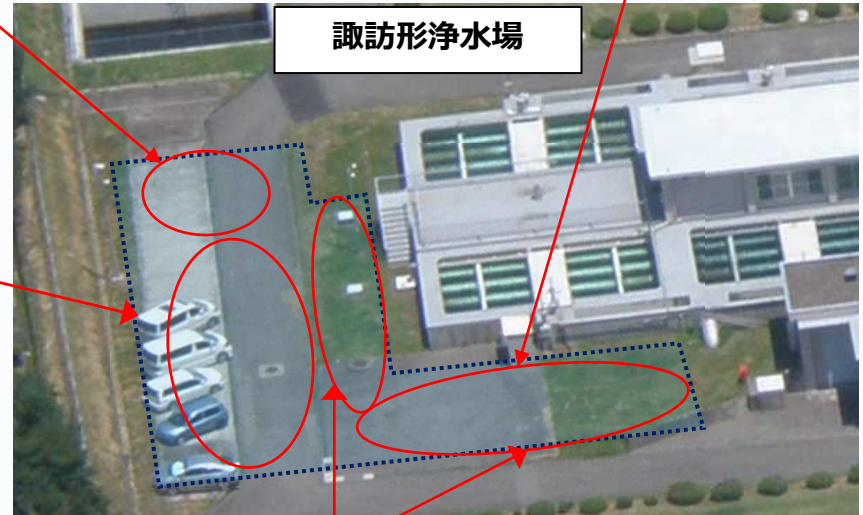
漏水修繕研修エリア

ダクタイル鋳鉄管等の配水管接合、漏水補修部材による補修技術習得



漏水探知研修エリア

音調棒、漏水探知機等の漏水調査機器による漏水の有無、漏水箇所探知技術習得管路位置探査技術の習得



諏訪形浄水場

○その他研修エリア及び研修可能項目

- 給水工事 (本管からの給水管分岐方法)
- 消火栓操作 (消火栓操作方法と消火栓からの濁水排水方法等)
- 仕切弁等の操作 (仕切弁、空気弁、減圧弁の構造及び操作方法)
- 計測機器設置 (水圧計、超音波流量計、流方向計等の計測機器設置と取扱い方法)

今後の予定

R5
詳細設計・本工事 (1期)

R6
部分利用開始・本工事 (2期)

R7
本格利用開始